

- 2 巻頭特集 救命救急
- 4 特集 高校球児応援
- 6 市勢要覧リニューアル
- 7 たむらほっとニュース
- 8 春の褒章、たむら市民大学
たまり開講式・後期教員募集
- 9 昆虫トークセッション、
あぶくま洞ラベンダー園
- 10 総合健診(集団健診)のお知らせ
- 11 特定健診のお知らせ
- 12 情報公開運用、住民基本台帳閲覧状況
- 13 田村市奨学資金
- 24 各施設の催し
- 26 ほけんだより

市の募集・申請に関する 各記事の共通事項

☎問い合わせ ☑申し込み先
市への申込・書類提出について明記してい
ないものは、期間中の土・日・祝日を除く
午前8時30分から午後5時15分まで

*表紙写真 薪の里ながとろ

救命救急特集

あなたの一手が、命をつなぐ。

も し、あなたの目の前で人が倒れていたら、
どのように対応しますか？

市の確定申告会場の待合席で3月、市民が意識不明となり、倒れる事案が発生しました。申告を担当していた市職員が、心肺蘇生とAED(自動体外式除細動器)を使った救命措置を実施。迅速な連携と適切な処置により、市民は一命をとりとめました。

今回の功績を称え、市職員4人に郡山地方広域消防組合から感謝状が贈られました。

市は、田村消防署の指導のもと、市職員を対象に普通救命講習会を開き、万が一の事態に備えています。今月号では、今回の事案をモデルに、不測の事態に備える術を学びましょう。

☎市民部 生活安全課
82-11116



① 受付

常業行政局で行われた確定申告。市民の皆さんが訪れていました。



② 待合席

待合席に座っていた市民が寝ているような状態で座っていました。



③ 声かけ、119番

市職員が声をかけると応答せず、ぐったりとしている様子でした。「心停止しているかもしれない」と思い、すぐに、119番に連絡しました。



④ 応援要請

現場にいた市職員は、他の市職員に協力を求めました。



⑤ 移動

市職員が協力して、市民を床に寝かせました。



⑥ 胸骨圧迫

心停止した市民の胸の真ん中を、手の付け根で押し、胸が戻るまで、圧迫を繰り返しました。圧迫は、複数人の市職員が交互に対応しました。



そろそろ交代します

⑦ AEDが到着

市職員が連携し、近くに設置していたAEDを運びました。



⑨ 周囲に呼びかけ

周囲に「離れてください」と呼びかけました。



離れてください!

⑩ ショックボタンを押す

誰も市民に触れていないことを確認し、点滅しているショックボタンを押しました。



消防署からワンポイントアドバイス
電気ショック後も胸骨圧迫を繰り返してください。

! 危険なサイン

- ☑ 呼びかけに反応がない
- ☑ 息をしていない、またはしているか不明
- ☑ 胸や腹が動いておらず、
- ☐ をパクパクさせている

もしも目の前で 人が倒れていたら?

- Q** もしも目の前で人が倒れていたら、どのように対応すればよいですか?
- A** 周りが安全であれば、**ためらわず大きな声で「大丈夫ですか?」と声をかけてみましょう。**
- Q** 応急手当を行うには、どのようにすればよいですか?
- A** 反応がなければ、**迷わず119番に電話しましょう。** 通信指令員が応急手当について教えてくれます。

田村消防署員が教える



田村消防署は、定期的に救命講習会を開催しています。詳しい内容や日程等は、左記のQRコードをご覧ください。お問い合わせください。

☎田村消防署
82-11200



消防署からワンポイントアドバイス
胸骨圧迫は、1分間に100〜120回のテンポで行いましょう。「強く、速く、絶え間なく」がポイントです。押し深さは、5cm(単三電池程度)が適切です。

心臓

胸骨圧迫は胸の真ん中

⑧ パット貼り付け
音声ガイダンスに従い、電極パットを胸に貼り付けました。貼る位置は、パットのイラストのとおりになります。

※撮影のため、服を着用しています